

危機にあっても 決して揺らがない

2 つの危機——「アラブの春」の騒乱、そして、アフリカの角で発生した深刻な飢餓——で、ユニセフは2011年、かつてない難題をつきつけられました。80カ国における292の人的状況に対応しながら、新たな、そして長引く紛争や自然災害に取り組んできました。

こうしたすべての危機が子どもの権利と幸せに、多いなる脅威を与えます。ユニセフは、最も脆弱な（影響をこうむりやすい）子どもたちに支援を届けることを一貫して強調し、また人間性、中立性、厳正といった人道主義の核となる原則に即しながら、命を守るための安全な飲料水や食料、ワクチン、教育、シェルター、保護の分野でのサービスを届け、支援してきました。スタッフを危険にさらす場面も非常に多くなってきましたが、世界各地で安全保障の状況が悪化しているときであっても、ユニセフは支援を続けました。

飢餓を抑える

広範囲の干ばつに続くアフリカの角での人的危機は、2011年でも最大規模のものでした。最も重い負担に耐えなければならないのは、女性や子どもたちです。ピーク時には、極限の飢餓状態に陥った人が1,300万人に膨らむほど深刻な状況に陥り、そのうちの75万人の子どもたちは死に瀕しました。それは、国連が7月、ソマリア南部の一部が飢饉にあると発表したものです。ユニセフは即座に全組織をあげて必要な人材や資金を送り、ジブチ、エチオピア、ケニア、ソマリア各国の緊迫したニーズに対応しました。

ソマリアで迅速に人的活動を拡大していった結果、ユニセフは主に地元のパートナー団体と共に、24万1,000人以上いる急性栄養不良の子どもたちに支援の手を差し伸べることができました。ほかの海外の人道支援団体とも協力し、さらに26万3,000人近くの急性栄養不良の子どもたちを支援しています。栄養不良の子どもたちは小児期の病気に非常にかかりやすいため、ユニセフは、15歳以下の子どもたち100万人以上にはしかの予防接種を支援しました。

ソマリアでは300万人の国民が安全な水を利用できるようになりました。その中には干ばつと飢饉にみまわれた南部の170万人も含まれています。80万人以上の人々に衛生習慣の定着を促しながら、安全な水の供給により、コレラの発生を抑制できたのです。

ケニアの主な難民キャンプには、ソマリアの国境を超えて来る人々がいます。医療機器とワクチンの迅速な調達により、すべての5歳未満児ははしかとポリオのワクチンを接種できました。

エチオピアでは、450万人を超える人々が支援を必要としていました。より安全で回復力の強いコミュニティがますます重視されるようになってきていることから、ユニセフはエチオピア政府と協働で、この数年をかけて構築したセーフティネット（安全網）を拡大しようとしています。例えば、重度の急性栄養不良を現地で管理するための対策もそのうちの

**ユニセフは、80カ国において、
292の人的危機に
対応してきました。**



つです。ユニセフは、最も被害の大きかった地域を対象に、栄養不良の管理を目的とした2,000カ所以上の保健センターの設立と、1万人以上の保健員を対象とした訓練の支援も行いました。

携帯電話の通信を利用した保健と栄養専門チームは、エチオピアの中心地から離れた地域にも出向き、17万件近く診察を行いました。2011年の後半には、16万4,000人以上の子どもたちに対して治療食を提供するプログラムを利用し、重度の急性栄養不良に対する治療を施した結果、85%の子どもたちが回復を見せました。

騒乱の只中でも支援を届ける

2011年、アラブ諸国に押し寄せた政治危機は、特にリビア、シリア、イエメンで人道的な観点から数多くの被害者を出しました。上半期には、90万人以上の方がリビアを離れ、その多くはエジプトとチュニジアにたどり着いています。ユニセフは直ちに行動をとり、医薬品や水と衛生にかかわるサービスを難民に届けました。

チュニジアでは、国籍に関係なく難民の子どもたちを、一時的にチュニジアの学校制度に組み入れることをユニセフは支援しました。エジプトでは、国境付近をさまよっていた何千という人々のうち、18カ月未満の子どもたちに対して、全員がワクチン接種が実施されるよう支援しました。また、リビアでは8月下旬から、瓶入り飲料水を約50万人に配るサポートを行いました。

© UNICEF/NYHQ2011-0223/LeMoyné
政治の変化を求めて、横断幕やプラカードを掲げる10代の少女や若い女性たち。ユニセフは、パートナー団体と協働して、政治の混乱期に暴力にさらされた子どもたちを支援している（エジプト）



© UNICEF/NYHQ2011-1413/Page
避難民キャンプ付近で水を汲み上げる、
洪水で住む場所をなくした子どもたち
(パキスタン、ティグリ)

イエメンの政変は、深刻な貧困と長期間続いていた不安定な状態をさらに悪化させました。公共サービスはほぼ全壊しており、そこに食料や飲料水、燃料価格の急騰が重なりました。栄養面での危機が深刻化してきたため、ユニセフはサービスや物資を供給し、重度の栄養不良に陥った6万人近くの子どもの治療をしました。サダ県の全域で始まった予防接種のキャンペーンでは、命を救う経口ポリオワクチンを、その対象となる1歳未満児の86%が接種しています。

アフリカのコートジボワールでは紛争の結果、100万人近くの人々が住む場所を失い、子どもたちは病気にかかりやすく、教育も受けられない状態になっていました。ユニセフは「バック・トゥ・スクール（学校へ戻ろう）」キャンペーンの実施を援助し、100万人の子どもたちに支援の手が届きました。ほぼ650万人の子どもがはしかの予防接種を、そして、80万人が安全な水と衛生設備（トイレ）の供給を受けました。

時を経ても変わらないコミットメント

苦しい状況が何年も続いているときにも希望を与え、長引く危機にさらされてきた子どもたちのそばにいつもあり続けるのがユニセフです。アフガニスタンでは、国際的な教育支援活動「Global Partnership for Education」の先頭に立ち、国際社会の関心をアフガニスタ

ンでも特に危険な地域に引き付け、教育指数が最低だった55の郡で女子の教育を促進しました。2009年から2011年で、小学校に通う女子の数は10%増加し、現在では合計200万人を超えています。治安の悪い地域では、4,000のシューラ（コミュニティの議会）のメンバーと協働した結果、彼らが学校を守る活動に発展し、300校で授業の再開が実現しました。

コンゴ民主共和国は長期的に不安定な状況にあり、これまでに160万人もの国民が住む場所を失いましたが、ユニセフは保健センターの建設と復旧の支援を続けています。2011年には、1,300万人以上の子どもたちにはしかの予防接種を実施し、公共施設の復旧と教員の訓練を通して、最も不安定な地域に暮らす10万7,000人の子どもたちが、教育と心理社会的なサポートを受けられるように保障しています。

2010年の大地震の後の復興に時間のかかるハイチで、ユニセフは2011年、家を失い、依然としてキャンプや被災したコミュニティで暮らす32万2,000の人々のために、衛生設備（トイレ）の格差を埋め、アクセスを確保する取り組みに携わってきました。また、キャンプで生活する6歳から14歳の子どもに関しては、80%以上が学校に戻りました。一方、例年になく激しい雨が原因となったコレラ発生を抑制するため、ユニセフは、感染が疑われる子どもの症例を30万件近く診察している治療センター間の、ネットワーク構築を支援しました。

**洪水により、
アジアの数カ国で合わせて
何百万もの人々の生活が
壊されました。**

何十年にもわたる戦争が終わり、南スーダン新しい国になって、歴史が動きました。しかし、紛争がいまだに収まらないうえに、35万人を超える難民が一気に祖国へ戻り始めると、公共サービスにしわ寄せが及び始めました。そこでユニセフは、子どもが生存するために必要とされる基本的な保健・栄養サービスを支援したのです。支援が届いたのは10州のうち9州で、250万人を超える子どもたちがその対象となりました。重度の急性栄養不良の子どもたちに対する治療が拡大され、該当する子どものほぼ70%が治療を受けています。

厳しい気候との闘い

気候変動と激しい気象現象が引き起こされることとの因果関係は、世界的に認められています。2011年の洪水では、カンボジア、パキスタン、フィリピン、スリランカ、タイ、ベトナムで合わせて何百万もの人々の生活が壊されました。ユニセフは、給水の復旧や衛生キットの配布、栄養不良の検査、教育やその他のサービスの再開を支援しています。

パキスタンでは、激しい洪水で500万人を超える人々が被災しましたが、そのうちの半分を子どもが占めました。2010年に発生した大洪水の惨害からの復旧活動が続いているさなかであり、その不安定な状態が人道支援を難しくしています。ユニセフの支援で、安全な飲料水が480万人に支給され、350万人に衛生設備（トイレ）が提供されました。また、2011年の洪水で被災した子どもたちの100万人以上が、ポリオの予防接種を受けています。

2011年末に向けて、深刻な干ばつでサヘル地域の食料不安がさらに悪化する恐れが出てきました。ニジェールでは、すでにユニセフが、重度の急性栄養不良の子どもたち30万人近くの治療を支援し、その拡大を食い止めています。今後も取り組みを続けていきますが、状況が悪化しているため、改善の目途は立っていません。2012年初頭ユニセフは、年内中に重度の急性栄養不良に陥るとされる、最低でも100万人の子どもたちを治療するために、1億2,000万ドルの支援要請を呼びかけました。